



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 ディップ株式会社

コード番号 2379 URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大谷 栄一

TEL 03-5114-1177

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	6,825	13.1	△177	—	△210	—	△197	—
22年2月期第3四半期	6,035	△32.5	173	△80.3	182	△79.1	70	△82.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第3四半期	△1,732.82	—
22年2月期第3四半期	614.74	614.30

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第3四半期	6,025	3,111	3,111	3,111	51.6	27,247.54
22年2月期	6,700	3,399	3,399	3,399	50.7	29,782.62

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 3,111百万円 22年2月期 3,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,100	26.7	600	89.6	580	81.0	240	95.1	2,102.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期3Q	123,620株	22年2月期	123,590株
② 期末自己株式数	23年2月期3Q	9,431株	22年2月期	9,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期3Q	114,182株	22年2月期3Q	114,159株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(第3四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、企業収益や個人消費が改善する一方、海外景気の下振れ懸念による円高や、デフレの継続等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢につきましては、有効求人倍率においては回復の兆しが見えはじめているものの、完全失業率が依然として高い水準で推移した他、新卒採用の内定率が過去最悪を記録する等、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社は市場の回復に先んじてのシェア拡大を目指し、主力事業のバイトルドットコムにおいて、サイト開設以来の最大規模のリニューアルを実施いたしました。新機能では、紙媒体にはできない「WEBならではの」機能をコンセプトに、情報鮮度の高さを追求した週刊企画の導入や、「応募バロメーター」の表示、さらに、紙面では伝えられない職場の空気感を伝えるための「お仕事動画」機能及び、求職者が動画で自己アピール映像を撮影し、アルバイト先に応募する事により、書類や電話だけでは伝わらない自分のやる気や個性をアピールすることができる「動画応募」機能を導入し、今までの求人サイトにはない、新しい価値を提供してまいりました。

加えてこれらの新サービス導入にあわせ、機能訴求型のTVCFの放映や、新機能及び新CFの発表会を実施する等、積極的なプロモーションを展開し、ユーザー数の拡大に努めてまいりました。これにより、アルバイト・パート領域のバイトルドットコムにおきましては、売上高51億92百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

また、平成21年9月にサービスを開始したナースではたらこ事業におきましても、イメージキャラクターにアナウンサーの木佐彩子さんを起用した初のTVCFの放映を開始し、登録者の拡大に取り組んでまいりました。上記施策とあわせ、登録者数の拡大に備えたキャリアアドバイザーの増員による体制強化を図り、決定者数の増加に努めた結果、売上高は4億27百万円と、サイト開設後順調に推移しております。

しかしながら、エージェント（派遣・請負）領域におきましては、企業の派遣需要の減少に伴う派遣会社のスタッフ募集ニーズの低迷が継続したことにより、前年同四半期を下回る厳しい状況で推移いたしました。

これにより、当第3四半期累計期間の売上高は68億25百万円（前年同四半期比13.1%増）となり、第3四半期会計期間では25億77百万円と前年同期比30.8%増、並びに前四半期比19.5%増の高い成長を実現しております。営業損益につきましては、戦略投資として、新機能へのシステム投資及びTVCF等の積極的な広告宣伝・販売促進投資を実施した結果、営業損失は1億77百万円（前年同四半期は営業利益1億73百万円）、経常損失は2億10百万円（前年同四半期は経常利益1億82百万円）、四半期純損失は1億97百万円（前年同四半期は四半期純利益70百万円）となりました。

事業部門別の状況は以下のとおりであります。

	第13期 第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)		第14期 第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
はたらこねっと	1,256,856	20.8	845,575	12.4
バイトルドットコム	4,097,737	67.9	5,192,713	76.0
ジョブエンジン	664,981	11.0	344,856	5.1
ナースではたらこ	—	—	427,130	6.3
その他	15,800	0.3	14,867	0.2
計	6,035,375	100.0	6,825,143	100.0

(注) 前事業年度において「その他」に区分しておりました看護師専門の転職情報サービス「ナースではたらこ」につきましては、当期より重要性が増したため、事業区分を「その他」から「ナースではたらこ」に変更しております。なお、前第3四半期累計期間において「その他」に含めておりました「ナースではたらこ」の金額は15,200千円であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し6億74百万円減少し、60億25百万円となりました。主な要因は、現金及び預金9億34百万円の減少及び売掛金2億73百万円の増加等によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し3億86百万円減少し、29億13百万円となりました。主な要因は、長期借入金3億74百万円の減少等によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し、2億88百万円減少の31億11百万円となりました。主な要因は、利益剰余金2億89百万円の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末と比較し9億34百万円減少し、17億57百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1億52百万円（前年同四半期比67百万円増加）となりました。これは主に税引前四半期純損失2億75百万円、売上債権の増加2億50百万円等が、減価償却費等の非資金項目3億74百万円を上回ったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は3億59百万円（前年同四半期比1億2百万円増加）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出3億93百万円等が敷金及び保証金の回収による収入74百万円を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は4億22百万円（前年同四半期比1億円減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4億32百万円及び配当金の支払額90百万円が長期借入れによる収入1億円を上回ったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,757,865	2,692,686
売掛金	1,700,294	1,426,365
仕掛品	5,227	14,175
その他	601,612	483,176
貸倒引当金	△70,958	△58,682
流動資産合計	3,994,042	4,557,722
固定資産		
有形固定資産	351,732	418,316
無形固定資産		
ソフトウェア	1,020,098	828,387
その他	176,999	246,141
無形固定資産合計	1,197,098	1,074,528
投資その他の資産		
その他	537,631	707,877
貸倒引当金	△55,221	△58,231
投資その他の資産合計	482,409	649,646
固定資産合計	2,031,239	2,142,491
資産合計	6,025,282	6,700,214
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,799	140,790
1年内返済予定の長期借入金	548,800	507,100
前受収益	485,411	659,931
その他	647,002	531,438
流動負債合計	1,843,013	1,839,261
固定負債		
長期借入金	1,070,200	1,444,300
その他	700	16,699
固定負債合計	1,070,900	1,460,999
負債合計	2,913,913	3,300,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,080,900
資本剰余金	1,131,709	1,131,409
利益剰余金	1,270,588	1,559,772
自己株式	△372,128	△372,128
株主資本合計	3,111,368	3,399,953
純資産合計	3,111,368	3,399,953
負債純資産合計	6,025,282	6,700,214

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	6,035,375	6,825,143
売上原価	622,894	963,243
売上総利益	5,412,480	5,861,899
販売費及び一般管理費	5,238,542	6,039,334
営業利益又は営業損失(△)	173,938	△177,435
営業外収益		
受取利息	990	1,026
保険配当金	6,305	5,910
子会社清算益	4,891	—
その他	20,269	9,750
営業外収益合計	32,456	16,688
営業外費用		
支払利息	19,570	14,866
シンジケートローン手数料	4,653	29,732
その他	82	5,030
営業外費用合計	24,306	49,628
経常利益又は経常損失(△)	182,087	△210,376
特別損失		
固定資産除却損	1,925	31,626
固定資産売却損	1,273	—
中途解約損害金	421	883
原状回復費	—	32,749
特別損失合計	3,621	65,260
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	178,466	△275,636
法人税、住民税及び事業税	76,572	7,665
法人税等調整額	31,716	△85,444
法人税等合計	108,288	△77,778
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,178	△197,857

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	1,970,880	2,577,409
売上原価	232,678	385,256
売上総利益	1,738,202	2,192,152
販売費及び一般管理費	1,706,666	2,194,744
営業利益又は営業損失(△)	31,536	△2,591
営業外収益		
受取利息	403	203
保険配当金	6,305	5,910
その他	5,129	2,157
営業外収益合計	11,838	8,271
営業外費用		
支払利息	6,149	4,800
シンジケートローン手数料	4,653	8,615
その他	—	1,701
営業外費用合計	10,803	15,117
経常利益又は経常損失(△)	32,571	△9,437
特別損失		
固定資産除却損	—	261
固定資産売却損	1,273	—
中途解約損害金	421	—
特別損失合計	1,695	261
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	30,875	△9,698
法人税、住民税及び事業税	5,202	2,555
法人税等調整額	16,890	5,534
法人税等合計	22,092	8,089
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,782	△17,788

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	178,466	△275,636
減価償却費	240,369	279,131
のれん償却額	54,404	54,404
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50,671	9,266
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△132,236	—
受取利息及び受取配当金	△990	△1,026
支払利息	19,570	14,866
シンジケートローン手数料	4,653	29,732
子会社清算益	△4,891	—
固定資産除却損	1,925	31,626
原状回復費	—	32,749
中途解約損害金	—	883
固定資産売却損益 (△は益)	1,273	—
売上債権の増減額 (△は増加)	425,743	△250,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	62,799	21,009
前受収益の増減額 (△は減少)	△385,080	△174,520
その他の資産の増減額 (△は増加)	207,317	17,775
その他の負債の増減額 (△は減少)	△258,865	86,653
その他	10,753	6,590
小計	374,541	△117,192
利息及び配当金の受取額	990	1,026
子会社清算配当金の受取額	4,891	—
利息の支払額	△22,108	△15,915
シンジケートローン手数料の支払額	△51,240	△11,124
中途解約損害金の支払額	—	△883
原状回復費の支払額	—	△3,349
法人税等の支払額	△392,072	△5,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,997	△152,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,064	△40,060
無形固定資産の取得による支出	△293,449	△393,638
敷金及び保証金の差入による支出	△3,086	△159
敷金及び保証金の回収による収入	69,877	74,197
その他	△6,388	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257,111	△359,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△432,400	△432,400
株式の発行による収入	—	600
配当金の支払額	△90,185	△90,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△522,585	△422,537
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△864,694	△934,821
現金及び現金同等物の期首残高	3,355,131	2,692,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,490,437	1,757,865

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。